

贈賄防止のためのビジネス原則

「トランスペアレンシー・インターナショナル」が主導した多数の利害関係者が参加する宣言

トランスペアレンシー・インターナショナル (TI) は腐敗との闘いをリードする国際的な市民団体である。170 カ国以上にある支部およびドイツのベルリンにおける国際事務局を通じて、TI は、腐敗の弊害についての認識を高め、腐敗に取り組むための実効的なツールを開発し実施するために政府、企業、市民団体とともに活動している。

<贈収賄防止のためのビジネス原則 和訳版>
本文書の無断での引用・転載を禁じます。
トランスペアレンシー・ジャパン (TI-J)

目次

まえがき

本書に関わった人々

1 はじめに

2 ビジネス原則

3 贈収賄防止プログラムの策定

4 リスク評価

5 プログラムの範囲

5.1 利益相反

5.2 賄賂

5.3 政治献金

5.4 慈善寄付および後援事業

5.5 ファシリテーション・ペイメント

5.6 贈答、接待および費用負担

6 プログラム実施上の要件

6.1 組織の責任

6.2 事業

6.3 人的資源

6.4 研修

6.5 意識向上およびガイダンスの要請

6.6 コミュニケーション

6.7 内部統制および記録の保管

6.8 監視およびレビュー

6.9 関係機関との協力

6.10 外部による検証および保証

はじめに

贈収賄に関わるリスクは、懸念事項のひとつとしてますます重要になってきている。何人も、賄賂に対する需要に直面する可能性があり、不正に行動するライバル企業に、あるいはまた、行動基準に違反する従業員に直面する可能性がある。

「賄賂防止のためのビジネス原則」が2003年に最初に発表されてから、(賄賂に関する)環境は大きく変わった。国内外のより厳重な贈収賄防止法とその執行の増加、記録的な高さの罰金額、企業の役職員への刑罰の脅威は、ビジネス界に衝撃を与えてきた。スクリーニング手続きに贈収賄防止基準を加えつつある社会責任投資ファンドや指標も、新たな圧力の源泉である。

規制官と利害関係者が過ちに対して不寛容になるにつれて、責任ある企業は、賄賂リスクの特定、軽減を確実に行うための継続的な取り組みを始めなければならないと、理解するようになった。

効果的な贈収賄防止方針の設計と実施において企業を支援するために、トランスペアレンシー・インターナショナル(TI)とソーシャル・アカウンタビリティ・インターナショナルは、2003年に力を合わせて、「贈収賄防止のためのビジネス原則」を作った。「ビジネス原則」の開発は、国際的な企業、学界、労働組合、その他の非政府団体から構成される運営委員会の協力と支援を得て、さまざまな利害関係者による作業を通じて行われた。長年の間にその構成員は変化してきたが、運営委員会はビジネス原則を維持し広めるための活動に常に親密に関わってきた。

ビジネス原則はTIの民間部門の活動の基調方針になった。それらの原則は、広範囲の贈収賄防止の基準や宣言に影響を与えてきた。過去10年間で10ヶ国語以上に翻訳され、ビジネス業界と協働する中で、トランスペアレンシーのネットワークで広く使われてきた。それらはまた、数多くのトランスペアレンシー・インターナショナルの主要な調査手法に影響を与えた。

この第3版は、2009年に行われた前回の改訂以降に得られた知識と数ヶ月にわたる公聴会からのフィードバックを基に、贈収賄防止実践における近年の進展を反映し、変更点を原文に追加した。運営委員会は、この作業に貴重な知識と専門的見解を捧げてきた。

コンサルテーション、実施調査、ワークショップをすることによって、ビジネス原則、ならびに一連の付属ツールの内容は長年の間に質がより高まった。今日、何が効果的な贈収賄防止プログラムを構成するのは以前にも増して理解されるようになったが、賄賂と汚職は依然として重大な課題である。トランスペアレンシー・インターナショナルは、誠実さはビジネスにとって良いことであると信じ、ビジネス原則が、企業がより強く効果的な贈収賄防止プログラムを開発しようとするときに参考になり続け、それが世界的な高い基準となることを望んでいる。

2013年10月

スワード・コブス トランスペアレンシー・インターナショナル 事務局長

